

## チュートリアル課題 ゼイゼイ、こんこん

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-09-11 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.20780/00032333">https://doi.org/10.20780/00032333</a>

2014年度 Segment. 4

課 題 No.2

課題名：ゼイゼイ、こんこん

課題作成者：第一内科学

武山 廉



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

マミさんは22才。東京での就職が決まり、実家を出て都内のマンションで新生活をスタートさせました。引っ越しから2週間、マミさんは明け方に、なんだか胸がゼイゼイして目が覚めました。ああ息苦しい、水を飲んだら少し落ち着きました。会社で友だちに話したら、仕事のストレスじゃない、と笑われました。でも息ができないのは苦しいなあ。マミさんは、食事をのどに詰ませた時のこと、高校時代のマラソンが苦しかったこと、就職試験で胸がどきどき苦しくなったことを思い出しました。

シート2

新生活が始まり1ヵ月。マミさんは体がだるく37°Cの熱があります。熱はすぐ下がりましたが、ゼイゼイ、こんこんが続いています。友だちから、ずっと変な咳をしているわねと言われ、近くの内科クリニックを受診してみることになりました。クリニックでは先生からいろいろと質問され、そして聴診のあと、「呼吸音に異常があるから呼吸器内科を受診して検査を受けたらどうでしょう。」と言われました。怖いなあ、いったいどんな検査を受けるんだろう？

シート3

受診後2週間、咳と痰はまだ続いています。マミさんは呼吸器内科を受診しました。呼吸器内科の先生に、風邪をひくと咳が長引くこと、明け方にゼイゼイ苦しくなること、花粉症があること、職場のエアコンが直接体にあたること、実家で猫を飼っていること、タバコを吸っていることを話しました。その日も異常音を指摘され、胸部レントゲンと呼吸機能検査を受けました。そして帰りに血液と喀痰検査を受け、吸入薬を処方されました。

シート4

マミさんは2週間後、呼吸器内科を再診しました。吸入を始めてからは、ゼイゼイもこんこんもすっかりよくなりました。ゼイゼイしたのは空気の通り道が狭くなっていたからだと言われました。レントゲンは異常がなかったようです。前回の検査結果を渡され、しばらくは月に1回通院して、呼気検査で状態をみてゆくことになりました。診察の終わりに、先生はマミさんに副流煙の話をしました。会社で吸う場所もないし、タバコを止めようとマミさんは決意しました。

シート5

ステロイドと長時間作用型 $\beta$ 刺激薬の配合吸入薬を開始してから、ママさんの症状はすっかりよくなりました。徐々に薬を減らしてゆくことを説明されました。ニコチン貼付薬も禁煙薬も使用せず、たばこをやめることができました。呼気検査は正常範囲内です。東京での生活はとても快適になりました。